

平成 29 年度 知道会会員の集い 開催報告

～来年は 140 周年記念祝賀会 平成 30 年 11 月 17 日（土）です！～

平成 29 年の知道会会員の集いは、11 月 18 日（土）13 時 00 分より、水戸京成ホテルにて開催されました。今年は昭和 61 年卒・平成 8 年卒・平成 18 年卒を幹事学年に、2 月の引継ぎ会以降 6 回の実行委員会を重ねて準備を進めて参りました。当日はあいにくの雨模様のお天気にも関わらず最終的に約 360 名の参加申込みとなり、賑やかな集いになりました。

以下にご報告を申し上げます。

1. 代議員会



坪井直幸総務委員（H5 卒）の司会進行により会員物故者への黙祷の後、稲葉節生副会長（S38 卒）による開会挨拶、鬼澤邦夫会長（S38 卒）挨拶、鈴木一弘学校長（S52 卒）挨拶の後、鬼澤会長を議長として議事に入り、①第 66 期事業報告、②66 期決算報告及び監査報告、③第 67 期事業計画案、④第 67 期予算案、⑤母校創立 140 周年記念事業、について審議され、いずれも全会一致にて承認されました。助川裕副会長（S42 卒）による閉会挨拶にて閉会しました。

2. 生徒海外派遣プログラムの報告



代議員会に引き続いて、知道会の支援により 4 回目を迎えた「生徒海外派遣プログラム」について、今年 3 月にニューヨーク・ボストンに派遣された生徒 40 名のうち代表 8 名による報告会が行われ、14 日間の研修でコロンビア大学・イエール大学訪問、ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学での研修や現地高校との交流のほか、総領事館や企業訪問など現地で活躍する水戸一高卒業生の人脈を活かしての充実した研修内容により、今年も大きな成果を得られたことが報告されました。生徒全員が英語で堂々と発表を行う姿にも研修の成果を感じる報告会でした。

3. 講演会（パネルディスカッション）



講演会は、S61卒の主催により「バブル世代が語る茨城の現在と未来」と題してパネルディスカッションが行われました。小知和太氏の進行により、白石嘉亮、梶山朋子、谷津勉、岸弘二の各氏（いずれもS61卒）がパネリストとして壇上に上がり、茨城県の現状や将来に向けてのひとづくりについてなど、パネリストそれぞれが現在立っている県内外からの視点から見た思いを語り、討議しました。

4. 懇親会



懇親会は15時半から、鬼澤会長、鈴木学校長、大井川和彦茨城県知事（S58卒）の挨拶のあと、西野虎之介顧問（S23卒）のご発声による乾杯で始まり、佐藤繭弥・雲藤陽子両氏（H8卒）の司会進行の中、同級生や先輩後輩との会話も弾み盛況となりました。

懇親会余興では茨城弁を駆使したラップでTV等のメディアなどでも話題の「イバラッパー&チクラッパー」のお二人が登場し、会場を沸かせました。

懇親会の終盤近くには、来年2月24日開催の「東京知道会 同窓の集い」について代表幹事の大井健史氏（H1卒）ほか幹事メンバーから案内がありました。集い幹事の引継ぎでは今年度の幹事学年のS61・H8・H18卒から鬼澤会長へ幹事の印である軍配が返納され、代わって来年度学年幹事のS62・H9・H19卒が鬼澤会長から軍配を受け取り、揃いの法被を受け継いだ後、代表として久保佳彦氏（S62卒）が抱負を述べました。

最後に土屋良太（H18卒）・青木学（H8卒）・鈴木竜也（H8卒）の各氏の指揮により一同声高らかに校歌を斉唱し、中締めは当日出席の最年少者であるH27卒の菊地涼平・佐々木歩美両氏の音頭で三本締めをもって閉会となりました。

来年度は母校創立 140 周年記念祝賀会として、平成 30 年 11 月 17 日（土）ホテルレイクビュー水戸にて開催予定です。

託児サービスやパンフレット作製などの効果もあり、おかげさまで平成卒以下や女性会員の参加も増えて、ますます賑やかな集いになっています。

来年も多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。



以 上

作 成 : 平成 29 年知道会会員の集い実行委員会